

平成31年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の変更について

平成31年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験については、平成30年7月7日（土）及び8日（日）に実施する予定であった第一次選考試験を延期したことに伴い、平成30年5月2日に公表した平成31年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項（以下「要項」という。）の内容の一部を変更し、次のとおり実施する。

なお、本書に記載のない事項については、要項を参照すること。

また、台風等自然災害などの影響により選考試験の日程を変更する場合は、鳥取県教育委員会のホームページで周知する。

1 試験内容

(1) 試験内容

試験区分	教科（科目等）	第一次選考試験		第二次選考試験	
		筆記試験	技能・実技試験	適性検査	面接試験
小学校教諭		国語、社会、数学、理科、英語に関する専門試験 (マーク方式) ※教職教養に関する内容を含む。	音楽 ----- 中学校教諭(技術)との併願者は、中学校教諭(技術)志願者に同じ(9月3日(月)に実施)	適性検査	個人面接及び集団面接
中学校教諭	国語 社会 数学 理科 音楽 美術 保健体育 家庭語 英	志願する教科に関する専門試験 ※教職教養に関する内容を含む。	国語、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の各教科で実施 ----- 小学校教諭との併願者は、小学校教諭志願者に同じ(9月3日(月)に実施) ----- 中学校教諭(技術)との併願者は、中学校教諭(技術)志願者に同じ(9月3日(月)に実施)	適性検査	個人面接及び集団面接
高等学校教諭	国語 地理歴史(地理) 数学 理科(化学) 芸術(音楽) 芸術(美術) 芸術(書道) 保健体育 家庭語 農業 工業(機械) 工業(電気・電子) 工業(建築) 水産(食品)	志願する教科(科目等)に関する専門試験 ※教職教養に関する内容を含む。 ※地理歴史及び理科については、教科に関する共通試験を含む。 [地理歴史共通] 世界史B、日本史B、地理Bの3科目 [理科共通] 物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物、地学基礎、地学の8科目	芸術(音楽)、芸術(美術)、芸術(書道)、保健体育、英語、家庭の各教科(科目等)で実施	適性検査	個人面接及び集団面接
特別支援学校教諭		特別支援教育に関する専門試験 ※教職教養に関する内容を含む。	音楽	適性検査	個人面接及び集団面接
養護教諭		養護に関する専門試験 ※教職教養に関する内容を含む。	養護に関する実技	適性検査	個人面接及び集団面接

(2) 第二次選考試験の取扱い

第二次選考試験の適性検査及び面接試験は、全志願者に対して実施する。

(3) 第一次選考試験免除者の取扱い

平成 30 年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験においてB搭載者となった者及び第二次選考試験結果通知において不合格となった者の内「一次免除資格者」と通知した志願者については、取扱いに変更はなく、第一次選考試験免除者として、第二次選考試験の適性検査及び面接試験を実施する。

(4) 特別選考対象者に係る選考試験の実施内容等

特別選考対象者の決定については、既に発行している受験票記載のとおりとし、選考試験の実施内容等については、以下のとおりとする。

I 身体に障がいのある者を対象とした選考

試験内容については、一般選考の試験内容に同じ。なお、試験内容の免除等については、志願者の状況を改めて確認した後に決定する。

II スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考

スポーツ・芸術に直接関連する教科の志願者については、第一次選考試験免除者とし、第二次選考試験の適性検査及び面接試験を実施する。

III 現職教諭を対象とした選考

次表のとおりとする。

志願区分（現職教諭）	試験内容
小学校教諭、中学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	第一次選考試験免除者とし、第二次選考試験の適性検査及び面接試験を実施
高等学校教諭	第一次選考試験の筆記試験（専門試験）及び技能・実技試験並びに第二次選考試験の適性検査及び面接試験を実施

IV 普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考

一般選考志願者に同じ。

2 試験期日及び内容

(1) 小学校教諭志願者及び養護教諭志願者

第一次選考試験	第二次選考試験
<p>【期日】 平成30年9月3日（月）</p> <p>【内容】 ○筆記試験（専門試験） ○技能・実技試験 ※小学校教諭志願者の技能・実技試験は音楽のみ ○適性検査 ※第二次選考試験として実施</p> <p>【試験会場（予定）】 ○鳥取県庁 ○鳥取市福祉文化会館 ○とりぎん文化会館（鳥取県立県民文化会館）</p>	<p>【期日】 平成30年9月2日（日） ※現住所が鳥取県の米子市、境港市、西伯郡及び日野郡並びに鳥取県外である者（第一次選考試験免除者を除く。）に対して実施 平成30年9月5日（水） ※現住所が鳥取県の鳥取市、岩美郡、八頭郡、倉吉市及び東伯郡である者並びに第一次選考試験免除者に対して実施</p> <p>【内容】 ○集団面接及び個人面接 ○第一次選考試験免除者の適性検査</p> <p>【試験会場（予定）】 ○鳥取県教育センター</p>

(2) 中学校教諭志願者及び特別支援学校教諭志願者

第一次選考試験	第二次選考試験
<p>【期日】 平成30年9月3日(月)</p> <p>【内容】 ○筆記試験(専門試験) ○技能・実技試験 ※保健体育志願者の技能・実技試験は、器械運動、陸上競技、球技、武道、ダンス ※小学校教諭及び中学校校教諭(技術)併願志願者に係る技能・実技試験も実施。 ○適性検査 ※第二次選考試験として実施</p> <p>【試験会場(予定)】 ○鳥取県教育センター ○鳥取市福祉文化会館 ○鳥取県庁 ○鳥取県立図書館 ○鳥取県立鳥取西高等学校 ○鳥取市武道館 ○とりぎん文化会館(鳥取県立県民文化会館) 他</p>	<p>【期日】 平成30年9月4日(火) ※現住所が鳥取県の米子市、境港市、西伯郡及び日野郡並びに鳥取県外である者(第一次選考試験免除者を除く。)に対して実施 平成30年9月6日(木) ※現住所が鳥取県の鳥取市、岩美郡、八頭郡、倉吉市及び東伯郡である者並びに第一次選考試験免除者に対して実施</p> <p>【内容】 ○集団面接及び個人面接 ○第一次選考試験免除者の適性検査</p> <p>【試験会場(予定)】 ○鳥取県教育センター</p>

(3) 高等学校教諭志願者

第一次選考試験	第二次選考試験
<p>【期日】 平成30年9月8日(土)</p> <p>【内容】 ○筆記試験(専門試験) ○技能・実技試験 ※保健体育志願者の技能・実技試験は、器械運動、陸上競技、球技、武道、ダンス ○適性検査 ※第二次選考試験として実施</p> <p>【試験会場(予定)】 ○鳥取県教育センター ○鳥取県立鳥取商業高等学校 ○鳥取県立鳥取湖陵高等学校</p>	<p>【期日】 平成30年9月7日(金) ※高等学校教諭地理歴史(地理)、数学、理科(化学)、芸術(美術)、英語、家庭、工業(電気・電子)、水産(食品)志願者に対して実施 平成30年9月9日(日) ※高等学校教諭国語、芸術(音楽)、芸術(書道)、保健体育、農業、工業(機械)、工業(建築)志願者に対して実施</p> <p>【内容】 ○集団面接及び個人面接 ○第一次選考試験免除者の適性検査</p> <p>【試験会場(予定)】 ○鳥取県教育センター</p>

(4) その他

試験日程・試験会場等の詳細については、平成30年8月9日(木)頃に志願者に対して個別に通知する。

3 主な試験会場(予定)

鳥取県庁	鳥取市東町1丁目220	TEL(0857)26-7513
鳥取県教育センター	鳥取市湖山町北5丁目201	TEL(0857)28-2321
鳥取市福祉文化会館	鳥取市西町2丁目311	TEL(0857)24-6766
鳥取県立図書館	鳥取市尚徳町101	TEL(0857)26-8155 等

4 選考方法

(1) 第一次選考試験及び第二次選考試験の取扱い

筆記試験(専門試験)及び技能・実技試験を第一次選考試験として、適性検査及び面接試験を第二次選考試験として取り扱い、それぞれ以下のとおり選考する。

(2) 第一次選考試験

ア 選考方法

筆記試験（専門試験）、技能・実技試験その他提出された書類等により総合的に判定する。選考基準については、9「平成31年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験選考基準」による。

イ 加点

「要項6選考方法(3)」の示すところにより、一般選考志願者に対して、第一次選考試験の筆記試験（専門試験）に加点する。加対象者については既に発行している受験票に記載のとおりとする。

(3) 第二次選考試験の選考方法

第一次選考試験合格者の中から、適性検査、面接試験及びその他提出された書類等により総合的に判定する。

選考基準については、9「平成31年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験選考基準」による。

5 技能・実技試験内容及び携行品

「要項9 技能・実技試験内容及び携行品一覧」を参照すること。

ただし、小学校教諭及び特別支援学校教諭に係る技能・実技試験のうち、体育に関する部分、中学校教諭保健体育及び高等学校教諭保健体育に係る技能・実技試験のうち水泳に関する部分は実施しないので留意すること。

6 提出書類等

試験区分	提出書類・持参書類	提出方法
① 全試験区分 (②～④を除く)	<p>ア 受験票</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵送（インターネットにより出願した者については受験票作成依頼メールにより送付）済みの受験票に写真を貼って持参すること。 <p>イ 連絡用封筒 b（試験結果等通知用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角形2号（24cm×33.2cm）を使用すること。 ・郵便番号、送付先住所、宛名（「～様」と記すこと。）を明記し、400円（速達料金280円を含む）分の切手を貼るとともに、両面テープ等で封ができるようにすること。 <p>ウ 免許状授与証明書又は取得見込証明書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願する試験区分、教科に係るもののみを提出すること。 ・免許状の写しでも可（免許状が両面にわたる場合には両面の写し）。 ・取得見込証明書は、原本を提出すること。 ・併願する場合、当該試験区分、教科についても同様とする。 ・加対象者に係る複数免許状取得確認等のため、既に提出している者については、再度提出する必要はない。 <p>エ 学校図書館司書教諭講習の修了証書の写し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習を修了した者のみ。 	試験当日 持参
②特別選考（スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考）	① ア～ウに同じ	試験当日 持参
③特別選考（現職教諭を対象とした選考）	<p>ア ①アに同じ</p> <p>イ 免許状授与証明書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願する試験区分、教科に係るもののみを提出すること。 ・免許状の写しでも可（免許状が両面にわたる場合には両面の写し）。 	試験当日 持参
④特別選考（普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考）	① ア、イに同じ	試験当日 持参

7 試験結果等の通知・発表

第一次選考試験及び第二次選考試験の試験結果及び採用候補者名簿登載者について、平成 30 年 10 月 12 日（金）（予定）に通知する。

なお、第一次選考試験を不合格とされた者についても、第二次選考試験として実施する面接試験の結果を通知する。

8 その他

(1) 問合せ先

〒680-8570 鳥取市東町 1 丁目 271 鳥取県教育委員会事務局教育人材開発課

TEL (0857) 26-7513、7571 FAX (0857) 26-8094

(2) 災害等

災害等により試験日程等を変更する可能性がある場合は、鳥取県教育委員会のホームページ等により周知する。

(3) 鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験に関するホームページ

鳥取県教育委員会ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/kyouikujinzaikaihatsu/>

9 平成31年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験選考基準

試験項目	試験区分	選考基準			配点					
		評価の観点	評価の主な着眼点	評価	小学校教諭	中学校教諭	高等学校教諭	特別支援学校教諭	養護教諭	護諭
第一次選考試験	国語、社会、数学、理科、英語に関する専門試験及び技能・実技試験	小学校教諭				250点	/	/	/	/
	志願する教科(科目等)に関する専門試験※	中学校教諭 高等学校教諭				/	200点	250点	/	/
	特別支援教育に関する専門試験及び技能・実技試験	特別支援学校教諭				/	/	/	250点	/
	養護に関する専門試験※	養護教諭				/	/	/	/	200点
第二次選考試験	面接試験 (集団面接) (個人面接)	全試験区分	①教育に対する情熱・鳥取県の教員としての使命感	<ul style="list-style-type: none"> ・教育的愛情・信念を持って児童生徒に接しようとしているか ・鳥取県の教員としての誇り、責任感を持って教育に携わろうとしているか ・常に向上心を持って自己研鑽に努めようとしているか ・鳥取県の将来を見据え、児童生徒が新たな価値を創造するなど、未来を創造する力を育成しようとしているか ・児童生徒の思いや立場を理解する力を有しているか 	A～Eの5段階で総合評価	集団面接 180	集団面接 180	集団面接 180	集団面接 180	集団面接 180
			②教育の専門家としての指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等の専門性を生かして、主体的に学ぶ力や協働的に取り組む力を育むような指導を行うことができるか ・児童生徒の実態を踏まえながら自主性・自律性を培い、社会的自立に向けた力を育むような学級経営を行うことができるか ・豊かな発想力や状況に応じて創意工夫する力を有しているか ・感性豊かで温かく、人間的な魅力を有しているか 						
			③豊かな人間性・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな教養と人権意識を身につけ、バランスのとれた判断ができるか ・社会人としての常識、規範意識を有しているか ・礼儀やマナーをわきまえた対応ができるか 						
			④チャレンジ性・協調性	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的な教育上の課題に対して、チャレンジ精神を持って取り組むことができるか ・幅広い視点で物事に柔軟に対応することができるか ・組織の一員として、協力しながら教育活動に取り組むことができるか 						
			⑤人間関係能力	<ul style="list-style-type: none"> ・明朗で、丁寧に対応することができるか ・相手の考えを受け止めながら、自分の考えを的確に伝えることができるか 						
	適性検査	全試験区分	※判定のための参考資料							

※技能・実技試験を実施する教科(科目等)の配点には、当該技能・実技試験の点数を含む。